

- 組み状況について伺う
- ア 被害の軽減目標が平成19年度の現状値から同23年度まで示されているが目標通り軽減されているのか
- イ わな猟免許取得の促進、狩猟者の育成確保は平成20年度から同23年度までの取組であるが状況は
- ウ 捕獲技術向上のための施設整備と人材確保は進んでいるのか
- エ 現在、捕獲した鳥獣の処理は捕獲現場での埋設処理が中心であるが、大変な労力があるのと衛生上好ましくない。何らかの処理方法は当然検討されていると思うが如何か
- オ 現在、各地域の猟友会に駆

- 除・捕獲全般を全面委託で済ませているが、行政の責務として前面に出て職員による害獣駆除チームの編成をするべきであると考えが如何か
- カ 各地域の猟友会において機動的に動くことの出来る方の登録数は
- キ 関係部署の職員が非協力的で

あると聞かすが、担当職員はなぜ積極的に対応しないのか  
ク 追っ払いは、移動するだけで数は減らない。被害の根幹は数の増加にある。捕獲・駆除を前提としなければ解決方法はないのではないか

▶市民からの苦情に対し真剣に取り組め



## た や しゅう すけ 田 矢 修 介

### 県都クラブ

#### ●一般質問●

#### 1 救命救急センターの開設

- (1) 実現への具体的スケジュールは
- (2) 津市としての姿勢と責務は
- (3) 問 開設は市民の悲願。一日も早い開設を望む

答 本年度末の指定に向け、三重大学医学部附属病院に設置が進められ、医師等や病床確保に努められている。今後、初期救急・2次救急の体制強化に取り組みたい。

#### 2 津市健康づくり計画

- (1) 平成23年までの5ヵ年計画、後半期に入るが、評価と検証はなされているか
- (2) 計画と行財政改革との間に齟齬や相克はないか
- (3) 基本方針に逆行する様なことはないか

#### 3 救急搬送の向上

- (1) プロトコル及び事後検証会の

実施等において、他市と比べてどうか。又、隊員の知識向上などの成果は

- (2) 日々進歩するガイドラインに対しライセンスを取得している職員はどの程度いるか
- (3) 傷病者の搬送及び受入の迅速かつ適正な実施を図るための「消防法の一部を改正する法律」の公布について津市救急への影響は
- (4) 119番通報時におけるトリアージへの見解は
- (5) 新型インフルエンザに関し、消防機関における対策並びに救急業務の在り方を検討することとなっているが、津市はどの様に想定しているのか

#### 4 介護福祉

- (1) 地域包括支援センターの活動状況について
- ア 全面的に機能する時期の見通しは
- イ センターで働くケアマネージャー等の人材不足は生じていないか
- (2) 福祉有償運送について

ア 現在、津市内で福祉有償運送を行っている事業所はいくつ有り、車両は何台で、登録運転者は何名か

イ 事業をやめた事業所があると聞いているが、理由は何故か把握しているか

(3) オムツ等の支給について

ア 特定疾患で介護保険法の適用を受けている人に対して、65歳未満だからという理由でオムツ等の支給を行っていないのは如何か

イ 高齢者施策という枠組みからみて年齢制限をするのではなく、介護保険法の枠組みからみて支給をするべきであると考えが

#### 5 踏み倒しを許さない徴収の在り方

- (1) 安易な姿勢や（徴収権の放棄である）不納欠損処理はないか
- (2) 現行の滞納対策や徴収体制は万全か
- (3) まじめに納税している者の気持ちや付度せよ

#### 6 行政・人材評価システムの在り方